





白鷹町誕生 65 周年記念

第 25 回 白鷹紅花まつり



つむ
— 紅花と紡いだ夏の思い出 —

紅（あか）く染まる白鷹の夏——。
紅花を見て・触れて・感じる「二日間」が、今年もやってきました。

7月13・14日に行われた「第25回白鷹紅花まつり」。よつばこども園の園児らによる元気いっぱい「絵本「しらたかべにばなものがたり ベにばなふしぎ」の朗読と「おどる！シラタカ・レッド」ダンスの披露から始まったまつりは、力の入った演技で観衆を魅了した演舞や紅花畑に美しく響き渡った演奏など、会場は連日大盛り上がりを見せました。また、昨年オープンした「山峡紅の里」も会場に加え、地元グルメや売店などで来場者をもてなしました。

今年白鷹町が誕生して65年目を迎える記念の年であり、地元の方々の協力もいただき素晴らしいこととなりました。遠方から来られた観光客の方にも有意義な時間を過ごしていただけたと思います。約4700人の方々が訪れ、紅（あか）に魅了された二日間。夏の思い出に深く刻まれたことでしょう。

